

活動報告

研修会への託児室併設事業の紹介

会員ライフサポート部（寺尾詩子）

会員ライフサポート部
活動報告 第45報
職場環境を考える

■はじめに

会員ライフサポート部では、就業継続に関する問題の取り組みを始めて、ちょうど10年が経ちました。活動を始めてくれた先輩方のご苦労と、皆様の理解と、社会の変化が相まって、継続的な活動が続けられているように思います。

当部の事業の1つに「託児室付研修会の開催」があります。学会レベルでは当たり前になりつつある託児室設置ですが、県士会の研修会では託児室をつける事業を継続的に行うのはまだ難しいのが現状です。研修会は自分の知識・技術の向上と同時に認定・専門理学療法士の取得・維持のために参加は必須です。その研修に皆さんのが参加しやすいよう環境を整えていくことは必要な活動です。今回のニュースは、これまでの託児室設置の取り組みを振り返り、皆様にその内容をご理解いただくとともに、必要な方に情報が届いていくことを願って書きました。



↑県士会事務所の会議室、部員で託児を試みましたが子供たちが親元に行ってしまいました（平成21年）

■託児室事業者と会場の選定

初めて託児付の研修会を企画した時は、自分たちでお子様を預かるという手作り託児室でした。きっとママたちは気が気でなかったに違いありません。というわけで、次からプロを頼もう！ということになり、どこに頼めばいいのか？から手探りとなりました。学会の託児室などを調べ、次のようなことをポイントに選定しました。

●ポイント① 「(社) 全国ベビーシッター協会」

上記協会では自主基準を設け、マニュアルの整備、定期的な研修会の実施、賠償責任保険の完備、保育環境（託児室の必要面積、シッター数）の設定などがされています。その協会に加入している業者に絞って依頼しています。

●ポイント② 「サービス内容」

値段設定やサービス内容は業者によって違います。サービス内容は依頼してわかることが多いです。これまで依頼した中でシッターさんに問題があったような業者はこれまでありませんでした。

●ポイント③ 「会場選び」

安全性、快適性の確保のためには下記のようなところに配慮が必要です。最近は子供用の施設ではなく安全の保障ができないということで借りられない会場もあり、会場の確保は結構大変です。

①適切な広さ（1人あたり3.3m²が目安）、会議室でも備品が移動できればOK

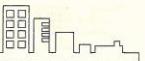
②床の材質（理想的には畳、カーペットが敷いてあるところ。業者が敷物は持ち込んでくれます）

③研修会と同じ施設

これまでの実績は、写真をご覧ください。ベストな環境だったのがウイリング横浜の和室（27畳の広さがあり10名以上の託児が可能）でした。



↑ウイリング横浜の和室 13名利用（平成23年）



↑横浜ワールドポーターズの会議室（平成26年）



↑横浜市社会福祉センターのプレイルーム（平成26年）

■託児室はパパにも好評！

子育てに追われているママと子どもを土日もおいて研修に出かけるのは、パパとしてもかなり気が引けるとのことです。確かに！ですね。パパが託児室を利用して研修を受けてくれれば、パパの株はあがり、勉強

ができてしまうというので、託児室の利用はパパにもメリットが大きいのです。

■これからの課題

安全な託児室の運営には、それなりの予算確保が必要です。今後も継続した事業にしていくよう設置の意義や根拠をしっかり持ち、設置による効果も出していきたいと考えています。そこで、2014年度は、託児室設置に関する調査を企画しています。これまでに託児室を申し込んでくれた方を中心に利用者目線と、5月にあるPT学会に参加している様々な立場のPTの人たちを対象に調査する予定です。ご協力よろしくお願ひいたします。

■おわりに

この記事を書いている最中、ベビーシッターの事件が報道されました。ベビーシッターをうまく利用することは子育てと仕事の両立の有効な手段と思っていたので、ショックでした。大事な子供を守り、自分の仕事も続けていくためにはいろんな事を考え、知っておかなければなりませんね。厚生労働省のホームページに「よい保育施設の選び方 10か条」というものがありました。事前の情報収集や見学、実際の子どもの様子、保育者、場所の観察、質問、その後も実際場面や人のチェックということでした。忙しくて大変ですが、実際に見てチェックしていくことが必要ということです。託児室の依頼も確かにそうだなと実際に依頼をしてみてそう思いました。

ご質問、ご意見はいつでも受け付けています。

下記メールにお気軽に送信してください。

✉ lifesupport@pt-kanagawa.or.jp

理学療法士 在宅酸素療法の包括的サポートツール さんに是非使って頂きたい！

Pallet's

運動療法・呼吸療法等+リモコン機能+災害対応

電話 045-852-8170



パレツ



株式会社 星医療機器